

令和8年度4月定例教育委員会議事録

【日時】

令和8年4月17日（金）

開会 午後1時30分

閉会 午後4時00分

【会場】

辰野町民会館 104 学習室

【出席者】

10名

(辰野町教育委員会)

教育長	宮澤 和徳
教育長代理	飯澤 隆
教育委員	垣内 由佳
教育委員	関 政彦
教育委員	萩原 多恵子

(事務局関係)

学びの支援課長	菅沼 隆之
学校支援課長	竹村 智博
学校支援課長補佐	赤羽 徳幸
教育総務係	中沢 大輔
社会教育係	萩野 奈実

【傍聴者】

0名

【次第】

1 議事

2 協議

- (1) 辰野町教育委員会事務局体制および今年度の事業・課題、重点施策
- (2) 【非公開】学校の様子及び運営上の諸課題
- (3) 卒業式・入学式から今後活かすこと
- (4) R 8 教育課程 等
- (5) 小・中学校あり方検討委員会からの提言を受けて

3 報告事項

- (1) R 8 児童生徒数・学級数、町費職員配置
- (2) 町校長会・教頭会役員構成
- (3) 公民館講座
- (4) その他
 - ① R 8 教育委員会事務局年間行事予定
 - ② 4 月市町村教育委員会連絡協議会
 - ③ 地方公務員法

○開会

1 開会宣言

2 会期の決定

- ・会期については1日とする。全員異議なし。

3 議事録の承認

- ・承認。

4 宮澤教育長挨拶

こんにちは。令和8年度がスタートして2週間ほどが経過しました。昨年より1週間早く咲き出した辰野町の桜もすでに散り、ハナモモなどの赤やピンクの花が咲き誇っています。その中を、新学期を迎えた児童生徒が、元気に登校して行く、毎年の光景ですが、新学期の風物詩として爽やかさを感じます。教育委員の皆さんには、この3月から4月、卒業式や入学式では教育委員会告辞を、辞令交付式や先生方の事務局への挨拶時、さらには送別会・歓迎会にも参列いただくなど、大変忙しい思いをさせていただきましたが、大変ありがとうございました。すでに小学校の集団登校も終わり、通常の登校風景に戻っていますが、4月7日の朝から数日間、多くの通学路上で上級生が先頭と後ろを、真ん中に低学年や新1年生を配置して学校に向かう姿が見られました。毎年見ても、何回見ても新鮮で微笑ましい新年度の風景が展開されていました。町内小中学校では、いずれも力強く新年度のスタートを切ることができたと思っています。今年1年間、どの子にも、居場所があり楽しい学校、児童生徒にとっては、明日も行きたくなる学校になることを祈念したいと思います。

今週の火曜日から昨日まで、辰野中学校3年生が奈良・京都へ修学旅行に出かけました。参加が叶わなかった生徒もおりましたが、私が一番うれしかったのは、小学校1年入学時から私が気にかけていた女子生徒、この生徒は、様々な事情から小学校時代から欠席が続き、中学校に入っても長欠、登校しても教室になかなか入ることができなかった生徒でしたが、「修学旅行には行きたい」と話をしていたようで、実際参加することができました。昨日、帰校した後、校長先生にお聞きしますと、「友だちと楽しく過ごし、二日目には清水坂で友だちと楽しそうに買い物もしていた。」との報告をいただきました。普段、学校に行かれない状況にあっても、クラスの友だちとは切れておらず、旅先でも友だちと楽しく過ごすことができた、このことは、これによって、すぐに学校生活が大きく変化することはないにしても、これからの中学校生活にも何らかのよい影響が出るのではないかと期待しています。ありがたいことです。

教育委員会事務局では、3月末に大幅な人事異動があり、今は毎日、新鮮な雰囲気です。まだまだ新しい仕事に慣れない職員も多いわけですが、5月のGW明けあたりからは皆、バリバリ仕事をこなす姿が見られることと思っています。

さて、今日の定例教育委員会は、8年度最初の教育委員会です。令和8年度教育委員会事務局の体制や重点事業、課題や、学校運営上の課題の他に卒業式や入学式を行ってのご意見や、あり方検討委員会からの提言を受けての今後についての協議などになります。それではよろしく申し上げます。

5 議事

なし。

6 協議

(1) 辰野町教育委員会事務局体制および今年度の事業・課題

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として「辰野町教育委員会の基本姿勢」「令和8年度教育委員会事務局分担表」を提示。
- ・竹村学校支援課長より課の組織配置について説明。
- ・菅沼学びの支援課長より公民館講座、課の組織配置について説明。

【基本的な政策】

○学校支援課

- ・生きる力を育む教育の推進。
教育環境の整備。教育施設の整備。幼保小中高短大の連携。
学校DXの推進。
業務量管理・健康確保措置実施計画。
地域資源の活用を進め、より豊かな情操・感性を育む。
郷土を愛する心を育む体験教育の提供。
副教材・副読本『ふるさと「辰野町」(仮称)』の編纂。
保育園・小・中学校、高校・短大の教育環境の整備支援や地域と結ぶ仕組みづくりを行う。
新たな小・中学校あり方検討委員会を進めて行く。

○学びの支援課

- ・地域づくりにつながる生涯学習の推進。
図書館、町民会館等の整備を進める。
分館活動を支援する。

学習した成果を活用する場、還元のための提供を進める。
伝統文化や文化財の調査を進め、その保存と活用、一層の広報を図る。
企画展等文化芸術活動の場を提供する。
生涯スポーツの振興、スポーツを通じた地域の絆づくりを進める。
中学における部活動の地域移行・地域連携について具体的な協議を進める。
荒神山公園内施設の連携を進める。

【具体的な施策の概要】

- (1) 英語遊びの充実
- (2) 小学校理科専科および高学年の教科担任制の導入
- (3) ほっとサポート・教育支援員の配置
- (4) 学校支援主事：2名体制、特別支援主事：2名体制
- (5) ICT教育の環境整備（ICT支援主事2名+業者委託職員）、AI活用
- (6) 学びの支援教室（わたげ・たつのこ学舎）、校内教育支援センター
- (7) 外国籍児童生徒への一層の支援
- (8) ヤングケアラーを見落とさない
- (9) LGBTQ、SDGs等に配慮した学校づくり
- (10) 「たつのEサミット」の再開催
- (11) 辰野版「TOCO-TON」の推進を支援する
- (12) 町民企画講座の開設
- (13) 町民会館の機能強化
- (14) スポーツ関係（スポーツ振興係・スポーツ推進係の2係体制）
- (15) 荒神山公園内施設の連携および活動
- (16) 芸術の町「たつの」に相応しい美術館のあり方
- (17) 町文化財についての一層の広報・啓発
- (18) 町図書館の利用促進を図る
- (19) 庶務係の設置
- (20) その他

<A委員>

辰野中学校のスポーツ活動あり方検討委員会は今年度から新しくできたものなのか。

<宮澤教育長>

事務局は教育委員会で年に一回ほど。地域展開についてはまた別に行っている。こちらは特別な時に開くものであるため、普段の学校との連携のためにコーディネ

ネーターを配置している。

< B 委員 >

部活動の地域展開については大変関心が高い事柄。保護者間でもどうなっているのかと話題になっている。

< 宮澤教育長 >

昨年度はあまり進まなかったが、今年度から新任の専属職員が担当になり、進んでいくのではないかと。地域おこし協力隊の職員には、学校の先生と個々に話をしているのか疑問に思われている。具体的に進めようとする課題が出てきてしまう。

< C 委員 >

進めようと検討していると、社会の方のスピードが速く、状況が変わっていつてしまう。考えているうちに広域にしないといけなくなってしまい、一町村だけでは難しいのではないかと。岡谷市ですら子どもの人数が足りない。皆松本などに出て行ってしまふ。今後、私立などに集中してしまふのではないかと。

< 宮澤教育長 >

そのとおりで、すでにサッカーに関して、箕輪町と協力していく協議を始めている。部員の確保ができない状態。中体連も先行きが未定。中体連は先生たちが作っているが、部活動は先生と切り離す動きが出ているため、難しい状況。少子化がものすごく進んでいる。

< D 委員 >

地域移行が進展してほしいわけではなく、子どもたちが平日何もしないで家に帰って来るのではなく、体を動かしてきてほしい。

< 宮澤教育長 >

地域展開はまず休日。辰野中学の日程を変えた。授業を 16 時に終わりで部活動を早めに始めるなど。先生の勤務時間の短縮がねらい。

(2) 【非公開】 学校の様子及び運営上の諸課題について

- ・ 宮澤教育長より説明。

資料として「学校の様子及び運営上の諸課題」、「4 月校長会資料」を提示。

(3) 卒業式・入学式から今後活かすこと

< E 委員 >

来賓の役職順を指定してほしい。コロナ禍のところまでは教頭先生の案内があった。少しでも指示があるとよいのではないか。

< 宮澤教育長 >

辰野町では、式の流れとして、告辞、式辞、祝辞としているが、なくす流れも出てきている。しかし、それらをなくすことが子ども中心になるのかどうか。きっちりとした節目を付けること。なんとなく卒業するのではないという経験が必要ではないか。

< F 委員 >

会是对外的なものであり、この子たちが卒業する、入学するというのを地域の方に示すという意味もある。来賓を呼ぶのならきちんとすべき。

(4) R 8 教育課程 等

- ・ 宮澤教育長より説明。

資料として、「町内小中学校 令和 8 年度の教育課程」「小中学校における学校行事等について」を提示。

【辰野西小学校】

- ・ 誰もが認められる、「安心していられる居場所」「教師の人権感覚を磨く」。
- ・ 子供が自己肯定感・有用感を実感すること。
- ・ 「わかった」「できた」「もっとやりたい」子供が目を輝かせて追求し、力をつける授業を。
- ・ 子供の考えを聞き、任せるところは任せる。放任ではなく、見守り支える。
- ・ 単純に、子供が楽しいと思うこと、子供がやりたいということをやってみる。
- ・ 授業が教師の本務。ここは手を抜けない、抜いてはならないところ。
- ・ 新生辰野西小 2 年目。
- ・ 課外クラブ活動（陸上）の技術指導を外部指導者に依頼。
- ・ 授業改善を目指す。
- ・ 子供の思いをつかみ、そこからスタート。
- ・ 「授業が学校づくりの根幹」「一人の子供も取り残さない」を基本とした学習指導・生徒指導。
- ・ P T A について。

【辰野東小学校】

- ・「挑戦する子供」＝「自律した子供」。教員が「児童自ら考え行動できる場」を作る。
- ・「できた」「わかった」という段階を積み重ねていく。
- ・学ぶことの喜びを感じられるスモールステップを大切にしていく。
- ・新規採用講師の先生への支援。
- ・「総合的な学習の時間」の公開に向け、研究主任の育成。さらに研究主任から全職員へと学びが広がっていくようにする。
- ・6年生が「挑戦」したいクラブの開講。
- ・児童会活動について。

【辰野南小学校】

- ・辰野南小の良さを再確認し、大事にする。
- ・地域の方の思いと子供たちの思いを感じ合いながら。
- ・もうすぐ50周年、つなぐ、広める。
- ・日課、週日課、年間行事予定等の工夫・改善
- ・放課後の工夫。
- ・学校行事・学年行事の工夫。

【辰野中学校】

- ・新日課や貫練の充実。
- ・生徒や保護者から信頼される対応。
- ・「明日も行きたくなる学校」の実現に向けて。
- ・「問いから問いにつながる授業」。
- ・教師側の発想を変え、「やってみてよかった」「任せてよかった」という実践を積み重ねていく。
- ・生徒たちのやる気を大切にしたい生徒会活動。
- ・部活動について。
- ・家庭学習について、全校で議論していく。
- ・制服の見直し。

< G委員 >

「明日も行きたくなる学校」は具現化しつつあると感じている。先生たちの「支える」ということがかなり浸透してきているので、さらに一歩二歩進めたい。先生たち一人一人が考える、明日も行きたくなる学校とはどういったものなのか常に考えて、自分のクラスではこういうことをすると決めて行ってほしい。具体的にどうしたいというのが先生一人一人違うのではないか。

(5) 小・中学校あり方検討委員会からの提言を受けて

<宮澤教育長>

これを受けて教育委員会として検討していくにあたり、意見をいただきたい。急激な少子化を考慮し、町内小学校を集約（再編）することの検討をしていく必要がある。子どもたちが明日に向かって希望を持てる学校づくりのために、ギリギリまで待つのではなく、余裕のある今から新しい学校づくりを進めていきたい。

<H委員>

子どもたちのことを一番に考え、やはりスピードをもって決めていけたらと思う。

<宮澤教育長>

9年間の連続した学びに向け、小中一貫教育を進めていきたい。

<I委員>

一貫となると、先生の確保が難しくなるのではないか。

<宮澤教育長>

一貫型学校は、小学校は小学校の先生、中学校は中学校の先生という形だが、義務教育学校では、どちらの免許も持っていないと勤めることができない。両方の免許を持った先生の採用に関して県に質問をした。最終的なゴールは義務教育学校という形になるのがよいのではないか。

<竹村課長>

段階を踏むとそれだけ改修などの費用が掛かる。バスの課題もある。

<J委員>

保護者の中から、あり方検討委員会の提言書について質問があった。関心が非常に高い。パブリックコメントもあったが、あまり来なかった。新聞や広報、HPなどで発信したが、保護者の目に入っていない。段階を踏みきちんとやっていることを発信したい。オクレンジャーなど。

<K委員>

学校経由でプリントを配るのが一番ではないか。ダイジェスト版をつくり配ることで、その後の引っ掛かりが減るのではないか。

7 報告事項

(1) 令和8年度児童生徒数・学級数、町費職員配置

- ・宮澤教育長より説明。
資料として「学級編制」を提示。
各学校の児童生徒数と職員の配置を確認。

(2) 町校長会・教頭会役員構成

- ・宮澤教育長より説明。
資料として「令和8年度 辰野町校長会（教頭会）係分担」を提示。
校長・教頭の各種会議での役割を確認。

(3) 公民館講座

- ・菅沼学びの支援課長より公民館講座の内容を説明。

(4) その他

① R8 教育委員会事務局年間行事予定

- ・宮澤教育長より説明。近日中に配布予定。

② 4月市町村教育委員会連絡協議会

- ・宮澤教育長より説明。
資料として「4月市町村教育委員会連絡協議会（報告）」を提示。
協議内容について確認。

③ 地方公務員法

- ・竹村学校支援課長より説明。
資料として「地方公務員法」「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」「個人情報保護に関する法律」を提示。
改めて職務上知りえた情報の取り扱いなどについて確認。

8 閉会